

## 子どもの文化普及協会とは

子どもの文化普及協会は、その名の通り、子どもの本の普及を目的に設立されました。はじめは、子どもの本を売りたいくても、規模が小さいために、出版の取次から取り引きされない子どもの本の専門店を対象にスタートしました。

その後、出版の流通という特殊性から、需要があるのに本を販売できない、子ども服店や玩具店にも卸業務をひろげ、事業の拡大をしてきました。

子どもの文化普及協会は、子どもの本の専門店クレヨンハウスの関連会社であるだけに、特に子どもの本の選書能力を誇り、単なる卸業務だけでなく、文字通り子どもの本の育成に尽力してきました。

作家や画家、編集者と近いのも、従来の取次業にはない特殊性です。

子どもの本は、将来の読者を育成するためにも、出版界がもっと真剣に考えなければなりません。しかし、出生率の低下を理由に軽視されがちです。

また子どもの本は、ベストセラーよりロングセラーの世界です。子どもたちが読み継いできた本を、さらに読み継いでいくものです。残念ながらいま、新刊に重きを置く現在の出版流通からはみ出してしまっています。

一般書店の児童書コーナーは、ますます縮小されています。

しかし、一方で「心の教育」が言われ、読書の重要性が問われるようになってきました。出版流通や書店経営とは逆行するように、「朝の10分間読書」運動や、2003年からの司書教諭義務づけなど、子どものいる現場で、子どもの本が見直される傾向になってきました。子どもの本の普及に取り組んできた弊社としては、「ようやく」の思いを新たにしています。

またわたしたちは、子どもの文化の多様性から、子どもの本だけでなく、環境や食の本、子どもの健康の本、その関連商品、さらには玩具や女性の本にまで求められるようになってきました。

必要とされる物を必要とされるひとに届ける。こうして、わたしたちの活動はひとつひとつひろがっています。子どもや女性、お年寄り、障害者…などなど、よわいひとが、よりよく生きられる社会は、誰にでも暮らしやすい社会です。わたしたちは、そんな社会に貢献できるよう、地道に、しかも、たのしく努めたいと考えています。ご支援よろしく願います。

代表取締役・落合恵子